

本 賞

黒部で第九を歌う会

【黒部で第九を歌う会の設立について】

黒部で第九を歌う会は、1992年に発足した市民合唱団です。黒部市の「コラーレ」を舞台に、オーケストラと共に歌う合唱団としてほぼ2年毎に「第九」をはじめ「モーツアルトのレクイエム」、「ブラームスのドイツ・レクイエム」、「フォーレのレクイエム」等の合唱曲を歌ってきました。以来30年以上に渡り、黒部市を中心に継続的に活動をしてきました。

【会員資格や会員数について】

入会の資格は基本的にはありません。演奏会の企画ごとに募集チラシを作成し、市内外の他の合唱団に呼びかけて会員を募集しています。年少者は桜井高校の高校生が数人入会していましたが、卒業と同時に不参加となりました。最高齢は島倉前会長だと思います。演奏曲目によって参加者が変動します。

①第九の場合は、100名以上の参加を目標として募集

②モーツアルト、ブラームス、フォーレ、ヘンデルの曲目の場合などは、曲目ごとに会員を募集するため人数はバラバラ(54~72)です。フォーレのレクイエムではコラーレ・ココロ合唱隊に参加してもらいました。

③人員構成は黒部市民がおおよそ60%、市外が40%(主に魚津、入善、朝日)

【各種行事・イベント参加実績】

演奏会は2年ごとの定例の演奏会のほかに、姉妹都市交流事業としてメーコン市や根室市での交流演奏会に参加してきました。

また、氷見市芸術文化館の開館にともない令和5年5月21日に「氷見第九の会」の呼びかけで、氷見市での第九演奏会に28名参加しました。

令和6年5月19日に開催した第16回名水の里第九コンサートでは、旦に発災した能登半島地震で被災した氷見第九合唱団と共に、大迫力の合唱を繰り広げた。会場では能登半島地震義援金を募った。

また、同年12月8日に開催された氷見第九演奏会に12名が参加し交流を深めました。



根室にて2016
姉妹都市40周年記念



練習風景
横島先生指導(コロナ下)



2024第九(氷見・金沢より参加)



特 別 賞

ながとブルーエンジェルス所属

田 中 笑 伊 選手

田中笑伊選手（ながとブルーエンジェルス所属・山口県長門市）は、2024年7月にフランス・パリで開催された「パリ2024オリンピック7人制ラグビー女子」に日本代表『サクラセブンズ』として出場。全5試合に出場し、うち2試合で計2本のトライを決めるなど、リオ2016（10位）、東京2020（12位）を上回るサクラセブンズ過去最高位の9位獲得に大きく貢献する。

田中選手は、吉島小学校在学中からラグビーを始め、高校からはラグビーのために県外の強豪校（國學院大學栃木高校）へ進学。高校3年で日本代表『サクラセブンズ』に初選出され、ワールドラグビー女子セブンズ北九州でデビューを果たす。

2020年東京オリンピックでは最終選考まで残ったものの、ケガの影響もあり落選。

しかしながら、持ち味のスピードと冷静な判断力を活かし、たゆまぬ努力の結果、パリオリンピックの出場の切符を手にする。

また、地元魚津市ラグビー協会は、20年以上前からジュニア世代の強化選手育成に力を入れており、世界の強豪国に果敢に立ち向かう田中選手というスターの誕生は悲願達成であり、彼女の活躍を後押ししたとも言える。

魚津市出身でオリンピック出場は全競技を通じて初めて。田中選手のプレーは魚津市民の誇りであり、世界を目指して楕円球を追う日本中の女子ラグーマンの目標である。田中選手の今後ますますの活躍を期待したい。



予選プール第2戦 vsフランス



予選プール第3戦 vsブラジル



最終戦終了後

特 別 賞

富山湾横断蜃気楼ヨットレース実行委員会

藤 本 貢 氏

富山湾は、立山連峰を臨む雄大なセーリングスポットで、春には巨大な蜃気楼が出現する。大型ヨットのオーナー 藤本 貢氏が、大自然の恩恵を浴する富山湾で、新湊マリーナから魚津漁港をゴールとする(約2.5km) 富山湾横断蜃気楼ヨットレースを提案された。

2012年8月に「魚津漁火まつり」PRを兼ねて横断ヨットレースを県内のクルーザーに呼びかけ、プレレースを行い大成功させた。また、レースの結果表彰後に親睦大歓迎会を催したところ、クルーザー達の評判となり毎年開催されております。

第1回大会は2013年6月日本セーリング協会公認レースとして開催。今年度も第10回大会が開催された。また、第5回大会2017年度より、新企画のレースで2日目に沿岸周回「おんばたヨットレース」を開催。魚津漁港～海の駅の海岸淵を観戦客にヨットレースの迫力とクルー達の息の合った連携操作を身近でみてもらい、感動を与えておられます。

富山湾横断蜃気楼ヨットレース実行委員会メンバーは、市民と元クルーザーで形成し、富山湾の東西交流を促し、もっと新川地域での海洋スポーツの振興と地域を発展させようと富山湾での大型ヨットレースを恒例開催に協力しておられます。



航海練習の指導



ヨットレース



乗船体験



第1回ヨットレースポスター

地域社会賞

カワセミの会

2019年4月に設立された朝日町のあさひ総合病院（以下、病院）を拠点に活動するボランティアグループです。

朝日町で開催された地域医療や福祉を学ぶ地域包括ケア活性化マイスター養成講座の修了生が学んだノウハウを様々な場面で役立てようと結成されました。

これまでの主な活動に手話缶バッジの作成、全日本ろうあ連盟70周年記念映画の上映会（新川ろう連合会との共催）、医療の専門家らを招いての定期的な講演などがあります。令和6年にはふるさと美術館に地元の高齢者を招き、芸術作品の鑑賞を通じ老化を予防するアートセラピーを実施されました。

また、令和3年5月には病院の敷地内に薬草園を整備し、ラベンダーやミント、シヤクヤクなどの薬草を植え、育てたハーブで外来患者にハーブティーを振る舞う活動も定期的で開催し、患者との交流も図っています。

上記のように医療や介護について、住民同士が情報交換や交流ができる場づくりに努められ、介護予防や高齢者の居場所づくりに貢献されています。

コロナ禍で活動が出来なかった時期もありますが、現在はアートセラピーのような新しい取り組みにも精力的にチャレンジされ、地域の活性化に役立たれています。



ハーブティーを振舞い



みんななび



アートセラピー



メンバーのみなさん

地域社会賞

魚津市消防団消防音楽隊

【魚津市消防団消防音楽隊の設立について】

消防は、住民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、風水害や地震などの自然災害、事故などに対する救急・救助業務を行い、被害の軽減や安全確保に努めていますが、災害の大規模化、社会構造の変化、住民ニーズの多様化などに対応するため、この消防の仕事を住民により一層理解してもらうことが必要です。

消防音楽隊は消火活動を行わない広報団員として、消防出初式をはじめ各種消防行事や地域の数々のイベントにて演奏活動を行いながら、市民の防火・防災意識の向上と消防職・団員の士気高揚を図ってきました。

【入隊資格・団員数について】

年齢18歳以上の者で、団長が市長の承認を経て任命します。

(魚津市以外の住民も参加できます。)

- ・平成26年4月1日 一般入隊募集(社会人吹奏楽団にも働きかけました)
- ・平成26年6月1日 38名(男21名、女17名) 入隊辞令交付
(魚津市19名、滑川市6名、上市町5名、その他8名)
- ・令和6年12月1日 35名

【各種行事・イベント参加実績】

日頃、隊員たちはそれぞれの仕事の帰りに毎月1～2回の練習を行っています。コロナ禍で練習ができない時期もありましたが、心のこもった演奏をして参りました。

令和6年9月に行われた「魚津市消防団消防音楽隊創立10周年記念コンサート」は、富山市消防音楽隊、高岡市消防音楽隊、南砺市消防団音楽隊も参加して盛大に開催されました。

- ・魚津市消防団消防音楽隊発隊式(平成26年8月)
- ・魚津市消防出初式(毎年参加)
- ・魚津市総合防災訓練(毎年参加)
- ・まるまる魚津(毎年参加)
- ・国道8号魚津滑川バイパス開通式(平成28年2月)
- ・全国植樹祭5周年 魚津市制施行70周年 第17回新川森林祭(令和4年5月)
- ・魚津市消防団消防音楽隊創立10周年記念コンサート(令和6年10月)



H26 発隊式



R4 全国植樹祭



R5 魚津産業フェア
まるまる魚津



R6 創立10周年記念
コンサート

奨励賞

黒部市立清明中学校放送部

第41回NHK杯全国中学校放送コンテスト「テレビ番組部門」63本の作品において、黒部市立清明中学校が最優秀賞を受賞しました。

大会名称：第41回NHK杯全国中学校放送コンテスト

日 程：全国大会予選：令和6年8月3日(土)、4日(日)

決勝：令和6年8月20日(火)

主 催：全国放送教育研究会連盟、NHK、一般財団法人NHK財団

後 援：文部科学省

制作規定：課題「中学校生活から生まれたもので、テーマは自由」

5分以上8分以内。

作 品 名：「A Iに勝てる僕たち」

<作品内容>

絵本の読み聞かせを通して、中学生の僕たちがA Iに挑戦した。

その過程で、「伝える」こととは何か、相手に「伝える」ということの価値に迫った。



活動風景①



活動風景②



部員のみなさん

新人賞

魚津市立清流小学校6年

廣田悠羽さん

廣田悠羽さん(清流小6年・魚津市在住)は、小学校4年生の時に出場したプログラミングコンテストをきっかけに独学でプログラミングを勉強し始めました。その後、プログラミング教室に通ったりセミナーに参加したりして技術を磨き、市内外の数々の大会に出場。そして、2024年11月28日から30日の3日間、トルコ共和国・イズミルで開催された、90以上の国や地域が出場する世界最大級の国際ロボットコンテスト「WRO (ワールドロボットオリンピック)」に日本代表として出場しました。この大会は、選手自らがデザインしたロボットをプログラミングで動かし、課題をこなす技術やスピードを競うものです。

廣田さんは、この大会にチーム『悠真侍 -UMA samurai-』として出場。予選会を経て、8月に富山市で開かれた全国大会で見事優勝。世界大会の切符をつかみました。

大会出場に向けて、チームメイトの岡本悠来さん(大門小6年・射水市)と一緒に毎週末練習を重ね、同時にトルコへの多額の渡航費など支援金の協力も呼びかけました。

廣田さん自身の努力、周囲のサポートもあって無事大会に出場し、結果は101チーム中26位と健闘しました。出場した部門の中で、日本人としては最も高い順位です。

魚津市では未来を担う子どもたちに、プログラミングの楽しさに触れる機会を積極的に作るべく、コンテストの企画やイベント開催、小学校でのプログラミングクラブ活動を推進しています。廣田さんように「世界を舞台に挑戦する若き人材」が今後も成果を発揮することを期待し、応援していきたいと思います。



新人賞

入善町立入善西中学校 1 年生

篠田 優明 さん

所属するチーム石川県のダンスチーム「ロックリバークルー」は7月28日～8月1日に、米国ロサンゼルスであった世界最大のダンス大会「ワールド・オブ・ダンス」に出場。

54チームが参加したチーム部門で4位タイで予選を通過し、総合部門の決勝に進んだ。総合の最終順位は14位。

小学1年からダンスを続ける。電車や家族に車で金沢へ送迎してもらいながら練習に参加。今後は富山県内でダンスを続ける。

8月に笹島春人入善町長に報告した際は「会場の人の多さに驚きました。踊った後にチームや国に関係なく、いろんな人たちと写真を撮りました。人と人はダンスでつながることができると感じました。今後は勉強・(陸上の)部活とダンスの両立を頑張りたいです」と述べました。



新人賞

入善町立入善西中学校 3 年

福島 ひなたさん

中学生生活で、部活動としてバレーボールに打ち込む傍ら、町外のクラブにてビーチバレーボールの練習に励むなど、スポーツを中心に努力を重ね、バレーボールと、ビーチバレーボールの2刀流で、ともに華々しい活躍をしてられました。

その活躍ぶりは、令和5年8月に行われた第3回全国中学生ビーチバレーボール選手権大会で優勝、令和6年8月に行われた第4回全国中学生ビーチバレーボール選手権大会で準優勝、令和6年12月に行われた第38回JOCジュニアオリンピックカップ全国都道府県対抗バレーボール大会に富山県代表として出場するなど、華々しいものであり、その活躍は、地域に勇気と元気を与え、大きな励みとなりました。今後さらなる活躍を期待しています。

